

学生と教員の見方



【アピールポイント】
現地事例をもとに地域活性化や不動産活用を学び、主体的に調査・考察する力を身に付けました。

歴史的建築を持つ空間価値の文化や歴史と結び付くことや地域の個性を企業不動産戦略の観点から捉え、地域ブランドの形成につなげている点に着目したことを評価したい。

【学生の見方&考え方】
(4年 内藤遼馬)

人口減少や建物の老朽化が進むなか、新築だけに頼るのではなく、既存ストックを有効活用する「コンバージョン(用途変更)」が注目されている。その代表例の一つが、東京都福生市の国道16号沿いに残る「米軍ハウス」の再活用である。

貨店、撮影スタジオなどへ用途変更する取り組みが進められてきた。歴史的な建物を解体せず、新たな役割を与えることで、地域の個性を生かした魅力ある街並みが形成されている。

【教員の展開】
(山本卓教授)
福生市の米軍ハウスは、既存ストックを活用したコンバージョンの先進事例として広く知られている。建物を単に保存・再利用するという視点にとどまらず、

これからの企業不動産戦略では、不動産を「保有する資産」から「地域とともに価値を創造する資産」へと位置付ける視点が、地域再生を進めるうえでますます重要になる。

地域ブランドを創出

歴史的建物、コンバージョンで

米軍ハウスは、かつて米軍関係者やその家族の住宅として建設された平屋建て住宅である。基地内の住宅設備が進むにつれて空き家となる建物が増えたが、その独特の建築様式や広い庭、アメリカンレトロな雰囲気を生かし、カフェや雑

この取り組みの特徴は、既存建物が持つ空間価値や歴史的価値を地域資源として活用している点にある。建物は技術的・制度的な課題も少なくない。こうした課題を適切に解決しながら歴史的建築を次世代へ継承し、地域の活性化につなげることで、地域経済の活性化にも寄与している。企業不動産戦略の視点から見ても、

途変更への対応など、改修には技術的・制度的な課題も少なくない。こうした課題を適切に解決しながら歴史的建築を次世代へ継承し、地域の活性化につなげることで、地域経済の活性化にも寄与している。企業不動産戦略の視点から見ても、

福生市の事例が優れているのは、米軍ハウスという歴史的背景を持つ建物を地域固有の資源として生かし、新たな商業や観光の拠点へと再生している点にある。建物そのものが地域ブランドの象徴となり、多様な来訪者を呼び込むことで、地域経済や交流人口の拡大にも寄与している。このように、不動産が地域の文化や歴史と結び付くことで、他地域にはない競争力を生み出している点は大きな示唆を与えている。

企業不動産戦略と地域再生②

米軍ハウスは、かつて米軍関係者やその家族の住宅として建設された平屋建て住宅である。基地内の住宅設備が進むにつれて空き家となる建物が増えたが、その独特の建築様式や広い庭、アメリカンレトロな雰囲気を生かし、カフェや雑

組みの特徴は、既存建物が持つ空間価値や歴史的価値を地域資源として活用している点にある。建物は技術的・制度的な課題も少なくない。こうした課題を適切に解決しながら歴史的建築を次世代へ継承し、地域の活性化につなげることで、地域経済の活性化にも寄与している。企業不動産戦略の視点から見ても、

福生市の事例が優れているのは、米軍ハウスという歴史的背景を持つ建物を地域固有の資源として生かし、新たな商業や観光の拠点へと再生している点にある。建物そのものが地域ブランドの象徴となり、多様な来訪者を呼び込むことで、地域経済や交流人口の拡大にも寄与している。このように、不動産が地域の文化や歴史と結び付くことで、他地域にはない競争力を生み出している点は大きな示唆を与えている。